

## 別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 高梨乳業株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 2 4 1 - 0 0 2 3 神奈川県横浜市旭区本宿町 5 番地	
本票作成	部署名：岡山工場 工務課				
主たる業種	分類コード	09	業種名：食品品製造業		
事業の概要	岡山工場では県内から西日本全域にかけて販売する牛乳、加工乳、乳飲料などを製造。生産量は年間約31,947kl（平成26年度）、従業員数は70名、年365日稼働体制となっている。				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山工場		倉敷市片島町地藏院地187-1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 21 年度)	(平成 26 )年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	6,165 t CO <sub>2</sub>	5,613 t CO <sub>2</sub>	5,856 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 26 )年度排出量
	①	岡山工場	5,613 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：平成 22 年度 ～ 平成 26 年度 ( 5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 26 )年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	2.8 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産量千 k L	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 26 )年度	目標年度
		181 t CO <sub>2</sub> /(千KL)	176 t CO <sub>2</sub> /(千KL)	171 t CO <sub>2</sub> /(千KL)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 26 年度)	達成率等

## 【削減状況の自己評価】

- 1) 基準年度(181 t CO<sub>2</sub>)との比較では、平成25年度は唯一増加となりましたが、これ以外では減少となっており、平成22年度からの5ヶ年の平均では3.7%の減少となりました。
- 2) 平成26年度の実績は前年度比99.6%とほぼ横ばいであったのに対し、累計電力量は前年度比で92.9%、同重油使用量は92.6%となっており、省エネ諸策による効果と評価できます。
- 3) 上述の主要因として電力はブライン冷却用チラー設備更新(旧機比▲13.8kWh/月) 重油は蒸気自動送気システム導入による深夜時間帯ボイラー停止(重油▲4.5KL/月)が挙げられます。
- 4) 目標未達成の理由として、主力製品の割に熱媒を多く使用するクリーム製品が増加したこと、特定製品専用の設備が不定期で稼働したことにより、原単位的にみると効率が悪かったことが考えられます。

**【推進体制】**

- 1) エネルギー使用量削減は環境マネジメントプログラム計画に基づき施策実行中。
- 2) 各職場から選出の環境推進委員会を毎月実施。エネルギー使用量のレビューの他、エア漏れ、スチームトラップの点検等をメンバーが中心となって行なっている。
- 3) 環境委員会は工場長以下職制で編制し毎月実施。ISO14001活動全般の進捗確認等を行なっている。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山工場	<p>(平成26年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・26年 8月 エアコンプレッサー台数制御装置導入による運転効率化。</li> <li>・26年11月 蒸気自動送気システム導入による無負荷時ボイラ停止。(重油削減)</li> <li>・26年11月 ブライン冷却用チラー設備更新。(電力削減)</li> <li>・26年12月 照明LED化(包材室)</li> </ul> <p>(平成27年度実施計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・27年度中 充填室空調エアハンドリングユニットのインバータ化</li> <li>・27年度中 ヒートポンプ式給湯機導入による、CIP蒸気負荷削減。チラー効率化</li> <li>・27年度中 照明LED化</li> <li>・27年度以降 ボイラー更新</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

- 企業と協働の森づくり事業への参加。
- ・高梁市美しい森での森林保全活動参加継続。(年3回 間伐材の有効利用を目的とした活動)